



↑ワークショップでグループ毎に「みんなの心の言葉」を表現



小笠原・父島の寄港地で貴重な固有種を観察する自然体験活動→

★ B & G体験クルーズ 集団生活で友情を育む

東日本大震災で延期になっていたB & G体験クルーズが、8月17日から22日までの5泊6日間の日程で実施され、本町から蔵元小学校6年の岩澤愛海さんが参加しました。この体験クルーズは、世界自然遺産に登録された小笠原への船旅を通して船内での集団生活のルールやマナーを学ぶことと、寄港地での自然体験活動を目的として開催されました。今回は、東日本大震災の被災地から18人のメンバーも招待され、全国各地から集まった参加者らと友情を育み絆を深めました。岩澤さんは「自然の大切さをあらためて感じた。今回ともにした日本全国の仲間との体験を決して忘れない」と感想を語りました。

★ 赤 長島町出身のプロカメラマンが里帰り 崎の高橋和男さん表敬訪問

10月19日、長島町の赤崎集落出身でプロカメラマンとして活躍中のアメリカ在住の高橋和男さんが長島町役場を表敬訪問しました。この日は、町長室で川添健町長、濱上實則議会議長と面談。アメリカに渡米した経緯や現在の活動内容、そして今回出版した写真集を手渡し、エピソードに花が咲きました。高橋さんは「英語も話せない中、アメリカに渡り自分の夢を叶えることができた。長島の子どもたちも夢をあきらめないでほしい」とエールを送りました。今回、大作となった二つの写真集出版にあわせて本町16の小中学校と2カ所の図書館にそれぞれ寄贈がありました。



出版した写真集の中身を説明する高橋さん（中央）↑

優勝報告に来た本浦ソフトボールスポーツ少年団↓



★ 本 阿久根ロータリー旗争奪阿久根・長島地区少年ソフトボール大会 浦小が優勝報告

第28回阿久根ロータリー旗争奪阿久根・長島地区少年ソフトボール大会が開催され、Aパートで優勝した本浦ソフトボールスポーツ少年団（大野浩一代表）が10月24日、長島町役場を訪れました。この大会は、9月23日に阿久根市総合運動公園で阿久根市から5チーム、長島町から9チームのA・Bパートあわせて14チームが参加し熱戦を繰り広げました。キャプテンの大野友輔くん（6年）は「みんなで勝ち取った優勝はうれしい。次の試合も力をあわせて優勝したい」と抱負を語りました。